

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 倉敷市水道局		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 710-8565 岡山県倉敷市西中新田 6 4 0 番地	
本票作成	部署名：浄水課				
主たる業種	分類コード	36	業種名：水道業		
事業の概要	水道業 職員：114名				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	片島浄水場		岡山県倉敷市片島町 1 0 0 0	
	②	上成浄水場		岡山県倉敷市玉島上成 1 1 6 6	
	③	船穂取水場		岡山県倉敷市船穂町水江 1 4 2 4 - 4	
	④	福井浄水場		岡山県倉敷市福井 2 8 7	
	⑤	塩生加圧ポンプ場		岡山県倉敷市児島塩生 1 3 0 - 2	
⑥	真備浄水場		岡山県総社市下原下高畑 1 2 1 0 - 3		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 194 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 元 年度)	(令和 2)年度排出量	目標年度(令和 6 年度)
	6,782 t CO ₂	6,342 t CO ₂	6,375 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 2)年度排出量
	①	片島浄水場	1,638 t CO ₂
	②	上成浄水場	1,220 t CO ₂
	③	船穂取水場	729 t CO ₂
	④	福井浄水場	647 t CO ₂
	⑤	塩生加圧ポンプ場	206 t CO ₂
⑥	真備浄水場	283 t CO ₂	

削減目標の達成状況	計画期間：	令和 2 年度	～	令和 6 年度	(5 箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(2)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	7.0 %	6.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達	

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 令和2年度給水量：59,913,457m ³	原単位当たり排出量		
		基準年度	(2)年度	目標年度
		0.114 kg CO ₂ /(m ³)	0.106 kg CO ₂ /(m ³)	0.107 kg CO ₂ /(m ³)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 2 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

令和2年度は、倉敷市水道局の省エネルギーの推進と地球温暖化対策を総合的かつ効果的に進めるため、部署の長で構成する「水道局省エネ・温暖化対策推進会議」を開催するとともに、倉敷市エネルギー管理規定に基づく総合的な省エネルギーの推進、『管理標準』の活用による徹底した継続的な省エネルギーの推進、職員に対する「水道局省エネ推進研修会」の開催による省エネ技術のスキルアップ等を図った。その結果もあり、原単位当たりのエネルギー起源CO₂排出量は基準年度比93.0%の0.106kg-CO₂/m³と削減が進み、目標年度(令和6年度)目標値の0.107kg-CO₂/m³を達成した。

【推進体制】

・倉敷市におけるCO₂等温室効果ガス排出削減と省エネルギーの総合的な推進を目的に、市長部局、教育委員会、ボートレース事業局及び水道局の4部局により「省エネ・温暖化対策推進委員会」を運営している。
 ・水道局としては、省エネ法特定事業者としてエネルギー管理体制を継続的に整備のうえ、エネルギー起源CO₂等排出削減を推進している。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
(令和2年度実施分) 片島浄水場	(令和2年度実施分) 空調設備の更新(2階事務室) → 4tCO ₂ 削減
(今後実施予定分) 片島浄水場	(今後実施予定分) 空調設備の更新(中央監視室, 制御装置室, 1階事務室, 脱水機棟) → 33tCO ₂ 削減 照明設備の更新(中央監視室, 水質試験センター, 事務室) → 11tCO ₂ 削減
上成浄水場	空調設備の更新(管理棟中央監視室) → 4tCO ₂ 削減
福井浄水場	空調設備の更新(管理棟計算機室, 次亜塩素素注入設備室) → 6tCO ₂ 削減
水道局内11施設	環境に配慮した電力調達契約※ ¹ の実施 → 588tCO ₂ 削減※ ²

※1: 電気事業者のCO₂排出係数等を基に評価のうえ入札参加資格を設定する「裾切り方式」を用いて電力入札することで、よりGHG排出係数の少ない小売電気事業者からの電力調達を目指すことをいう。
 ※2: 令和3年度供給分について電力入札を実施した水道局内対象11施設における令和2年度の電気使用量(9,323,041kWh)を基に、従来の電力調達先である『中国電力㈱』と令和3年度供給分の電力入札落札業者である『新エネルギー開発㈱』との電力の使用によるCO₂排出係数(令和元年度実績: R3.1.7環境省, 経産省公表)の差分により試算した結果を示す。

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--